ごあいさつ



豊後大野市は、平成17（2005）年3月31日に「豊かな自然と文化を未来につなぐやすらぎ交流都市」を都市像に掲げて、旧大野郡の三重町、清川村、緒方町、朝地町、大野町、千歳村及び犬飼町の5町2村の合併により誕生し、この度20周年という節目を迎えることができました。これまでの市政運営に対する市民の皆さまの御支援と深い郷土愛に、心より感謝申し上げます。

さて、本市は、豊かな自然と雄大で美しい大地、そして、先人たちの英知とたゆまぬ努力により、脈々と受け継がれてきた歴史・文化・伝統があるまちです。

一方、人口減少や少子高齢化が進む中、この豊後大野市を未来に向かってつないでいくためには、地域で育った若者が地域に残っていけるようなまちづくりを進めていくことが必要と考え、それぞれの地域が持つ魅力や個性、特徴を最大限に生かしながら、「持続可能な豊後大野市づくり」の実現に向け、各種施策に取り組んでまいりました。

市制施行20周年において掲げた「つながる、つなげる 豊かなまち」は、私たちがこれまで歩んできた道のりを象徴しています。5町2村がひとつになり、自然や伝統、文化をつなぎ、国内外の交流都市と協定等を結んだ20年。その成果を未来へつなげていく期待を込めて、「豊後大野市20年のあゆみ」を刊行いたしました。

私たちが築いてきたこの豊かなまちを次世代へと引き継ぎ、未来に向けて新たな挑戦を続けてまいりますので、今後とも、皆さま方のより一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまの御健勝、御活躍を祈念申し上げ、刊行に当たってのごあいさつといたします。

豊後大野市長　川野　文敏